

岩手県感染症週報

平成24年第40週(10月1日～10月7日)

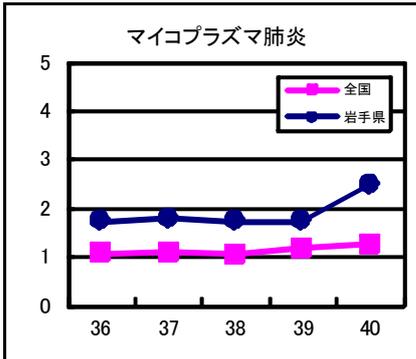
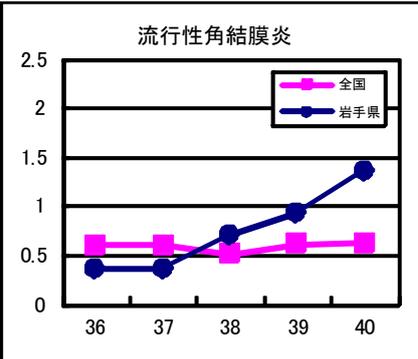
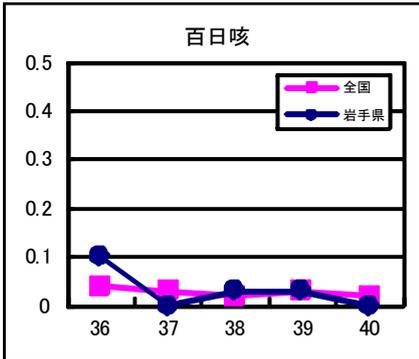
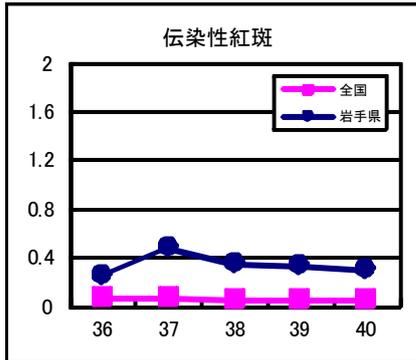
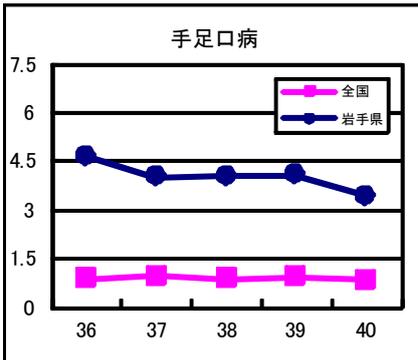
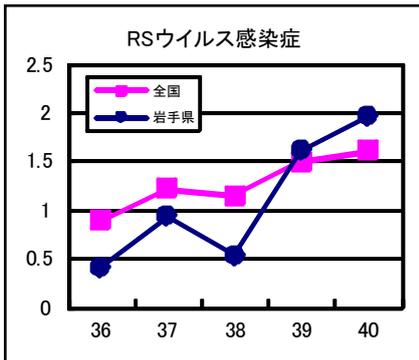
岩手県感染症情報センター

第40週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が、9 例（潜在性結核感染症 5 例）ありました。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡市から 3 例、宮古地区から 3 例の報告があり、今年 の累積報告数は87例となりました。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・後天性免疫不全症候群が1例ありました。患者は20歳代の男性です。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・RSウイルス感染症は、2週続けて増加しました。盛岡市、県央、奥州および大船渡地区で多くなっ ています。本疾患は主に乳幼児が感染し、インフルエンザ様の呼吸困難を伴う気管支炎となるの で、要注意疾患です。7月中旬より増加傾向がみられていましたが、前週より急激な増加を示しまし た。今後の発生の動向に注意が必要です。
 - ・手足口病は、前週より減少したが、過去5年間の同時期と比較して報告数が多く、盛岡市、中部お よび一関地区で警報値（定点あたり患者数5人）を超えています。咳などの飛沫感染のほか、便に もウイルスが排泄されるので、予防には手洗いと適切な汚物の処理が重要です。
 - ・流行性角結膜炎は、久慈地区で17例の報告がありました。そのうち10例が60歳以上です。
 - ・マイコプラズマ肺炎は、定点あたり患者数が2.74人と前週より増加しました。宮古地区で報告数が 多くなっています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		36	37	38	39	40		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.2	0.23	0.18	0.14	0.09		
RSウイルス感染症	岩手県	0.4	0.93	0.53	1.6	1.95	↗	☆
	全国	0.89	1.21	1.14	1.49	1.6		
咽頭結膜熱	岩手県	0.23	0.1	0.08	0.05	0.13	→	☆
	全国	0.34	0.38	0.25	0.25	0.2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.43	0.6	0.48	0.58	0.73	→	☆
	全国	0.81	0.89	0.7	0.94	1.01		
感染性胃腸炎	岩手県	2.25	2.13	1.83	1.3	2.18	→	☆
	全国	3.15	3.22	2.72	3.08	3.16		
水痘	岩手県	0.35	0.23	0.23	0.33	0.18	→	☆
	全国	0.5	0.42	0.42	0.45	0.46		
手足口病	岩手県	4.65	4	4.03	4.08	3.43	→	☆☆☆
	全国	0.89	0.98	0.89	0.95	0.86		
伝染性紅斑	岩手県	0.25	0.48	0.35	0.33	0.3	→	☆
	全国	0.07	0.07	0.05	0.05	0.05		
突発性発疹	岩手県	0.4	0.7	0.55	0.38	0.43	→	☆
	全国	0.7	0.71	0.54	0.65	0.59		
百日咳	岩手県	0.1	0	0.03	0.03	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.02	0.03	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	2.15	1.78	1.38	0.83	0.7	↘	☆
	全国	1	0.88	0.57	0.51	0.37		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.08	1	0.63	1.15	0.98	→	☆
	全国	0.34	0.4	0.32	0.38	0.38		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.07	0	→	
	全国	0.01	0	0	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.36	0.36	0.71	0.93	1.36	↗	☆☆
	全国	0.6	0.6	0.51	0.61	0.63		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.01	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.08	0.06	0.06	0.08		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.74	1.79	1.74	1.74	2.47	↗	☆
	全国	1.08	1.1	1.05	1.18	1.26		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

(患者発生数)

	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 36	37	38	39	40	累計	40	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者数	4 (1)	7 (2)	4 (0)	7 (2)	9 (5)	238 (110)	329	22227
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	6	171
	腸管出血性大腸菌感染症	8	3	5	4	6	87	102	3125
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	25
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	17
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	93
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	1	131
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	10
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサスル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	5
	つつが虫病	0	0	0	0	0	6	2	198
	デング熱	0	0	0	0	0	0	10	170
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	9	113
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	60
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	9	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	2	17	640	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	16	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 36	37	38	39	40	累計	40	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	12	673
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	2	169
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	4	293
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	2	0	137
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	4	190
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	2	16	1055
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	51
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	10
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	3	14	660
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	87
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	72
	風しん	0	0	0	0	0	1	42	1790
	麻しん	0	0	0	0	0	2	5	268

今注目の感染症

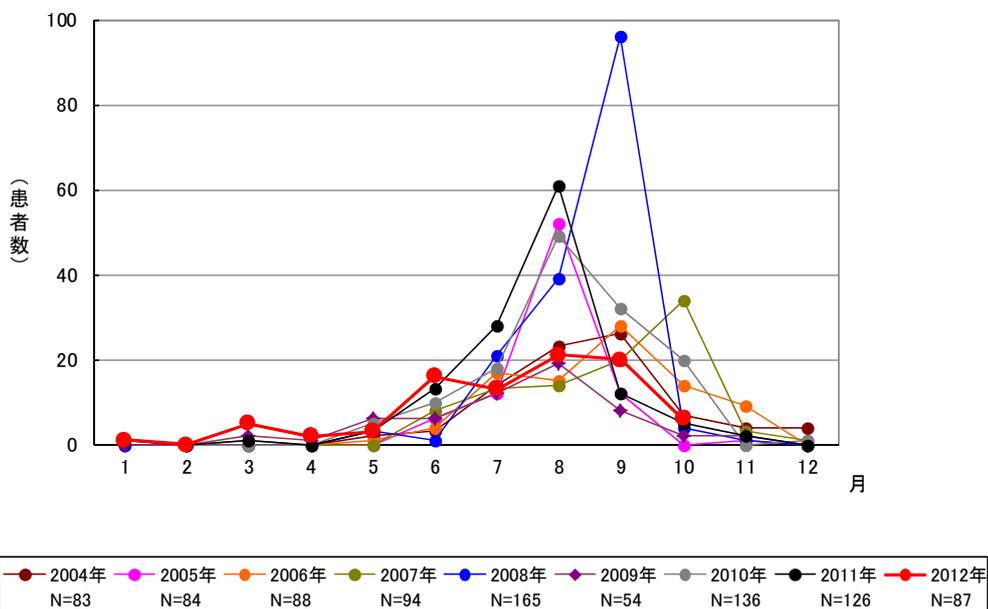
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第40週までに87例が報告されています。性別では男性が38例、女性が49例であり、年齢層別では0～9歳が30例、10～19歳が16例、20～59歳が27例、60歳以上が14例となっています。分離された大腸菌の血清群別ではO157が36例、O26が27例、O121が17例、O111が3例、その他が4例となっています。

食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要です。オムツの交換時の手洗い、簡易プールの衛生管理、動物の接触後の十分な手洗いにも注意が必要です。

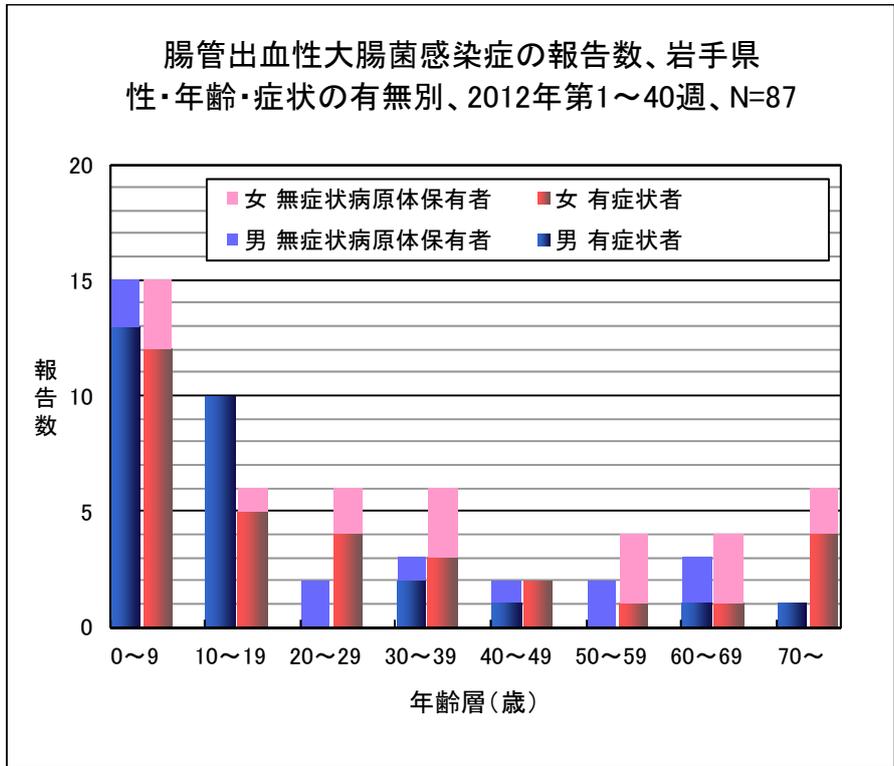
他県では集団食中毒の発生も報告されており、食中毒対策を徹底することが重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
(岩手県2004年～2012年)



今注目の感染症 (つづき)

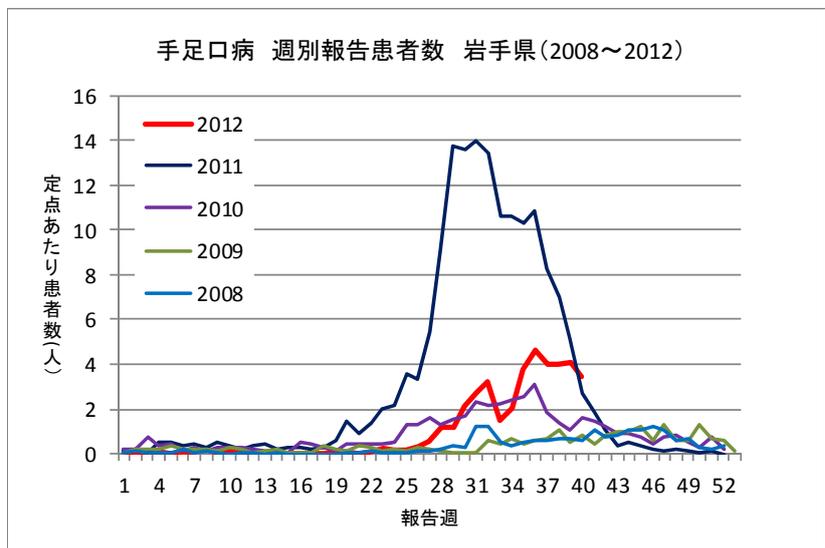
腸管出血性大腸菌感染症 (つづき)



手足口病

手足口病は、口腔粘膜および手や足などに現れる発疹を主症状とした急性ウイルス性疾患です。乳幼児を中心に、主に夏季に流行する疾患ですが、岩手県では例年、この時期にも、報告数が多い状況が続くので、注意が必要です。

病原ウイルスは、主にコクサッキーA16 (CA16) やエンテロウイルス71 (EV71) ですが、ほかのエンテロウイルスによっても発症します。環境保健研究センターで実施しているウイルス検査ではEV71が4例、CA6が1例およびCA9が1例検出されています。



今注目の感染症 (つづき)

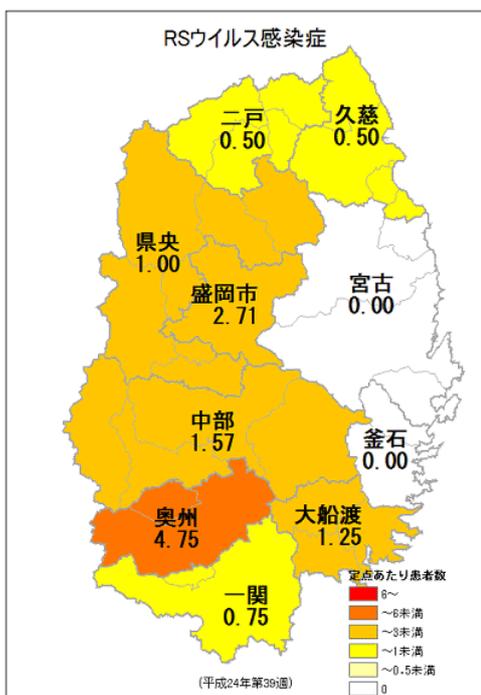
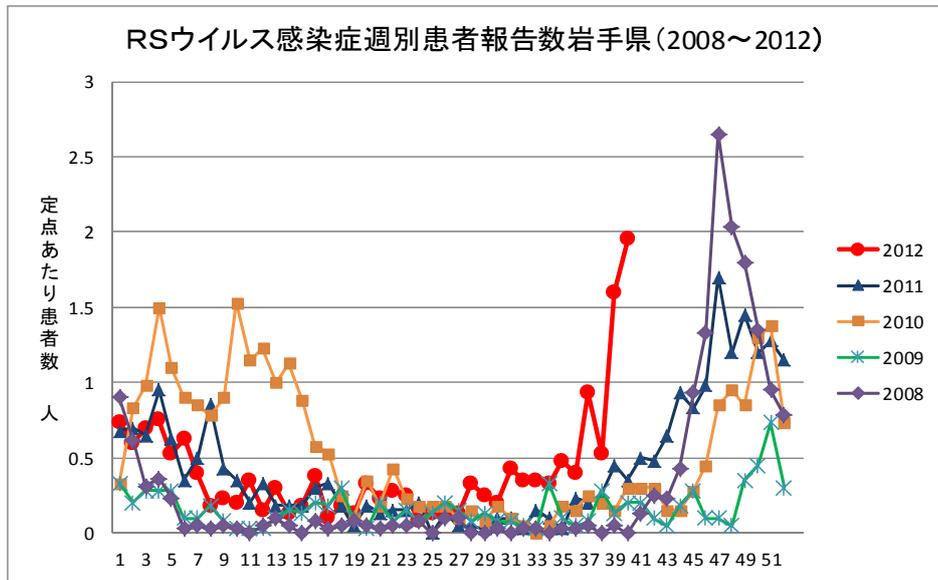
RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、冬を中心に流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。乳児の半数が生後1歳までに、ほぼ100%が2歳までに初感染を受けますが、終生免疫は獲得されず、一生の間に何度か感染を繰り返します。

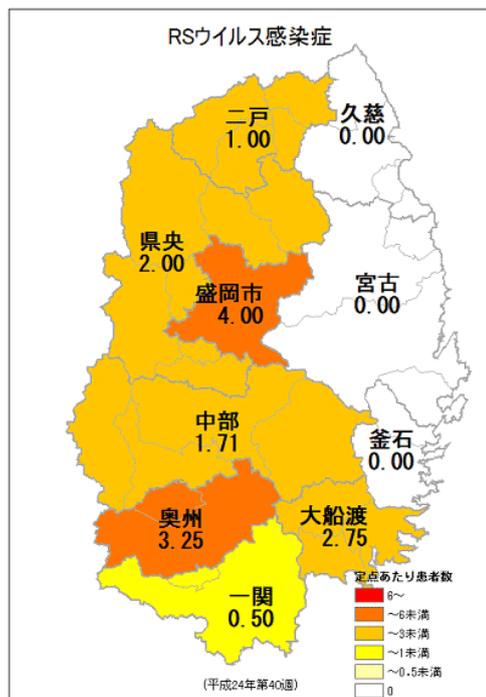
感染経路は、飛沫感染および接触感染（鼻汁や喀痰のウイルスが手指や器物を介し感染）です。年長者の再感染事例等では、典型的な症状を呈さず軽症例もあることから、家族間感染や乳幼児の集団感染に注意が必要です。

症状は、鼻水、咳、発熱が主ですが、乳児患者の10～40%が細気管支炎、肺炎などの下気道炎を起こすといわれています。また、基礎疾患がある場合には重症になりやすく注意が必要です。

予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。



第39週



第40週

病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

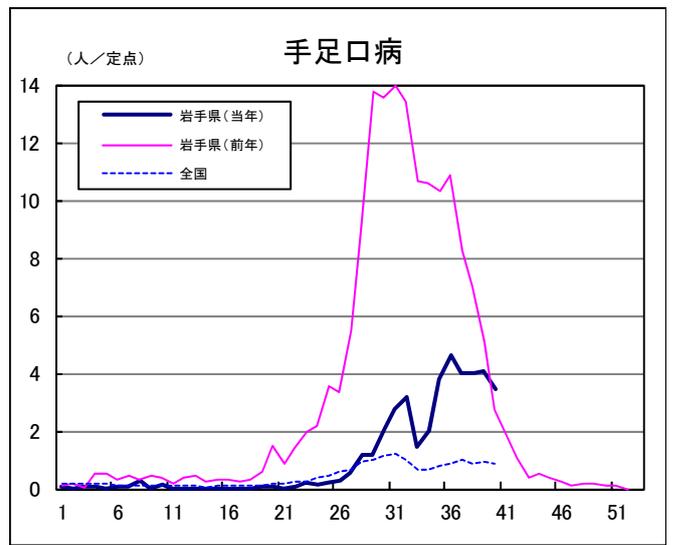
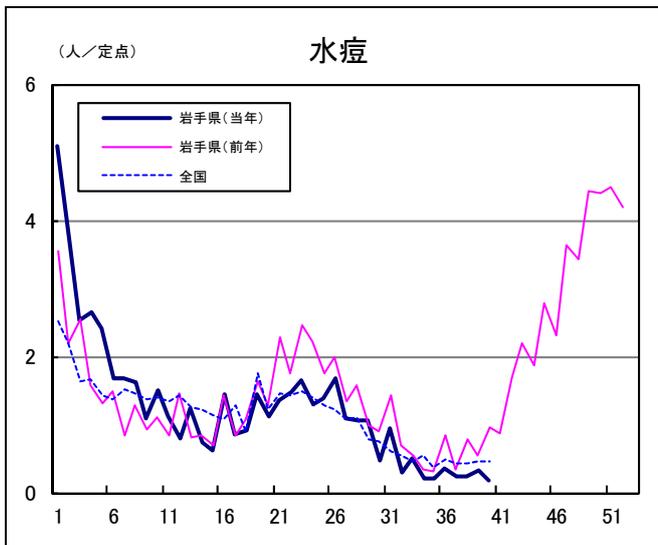
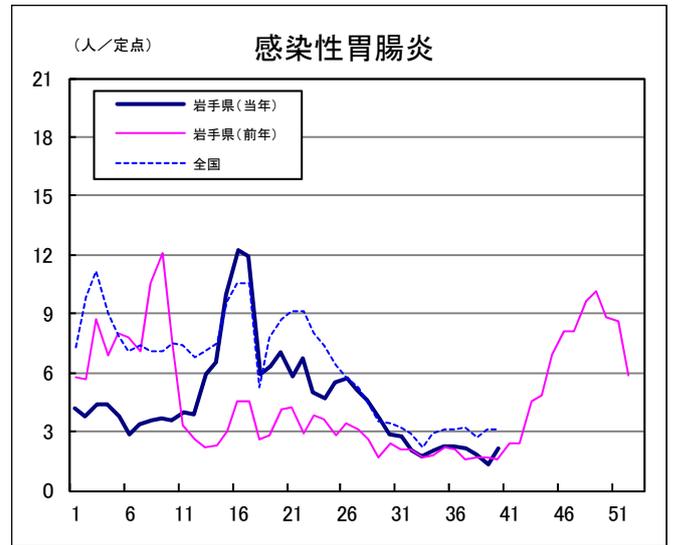
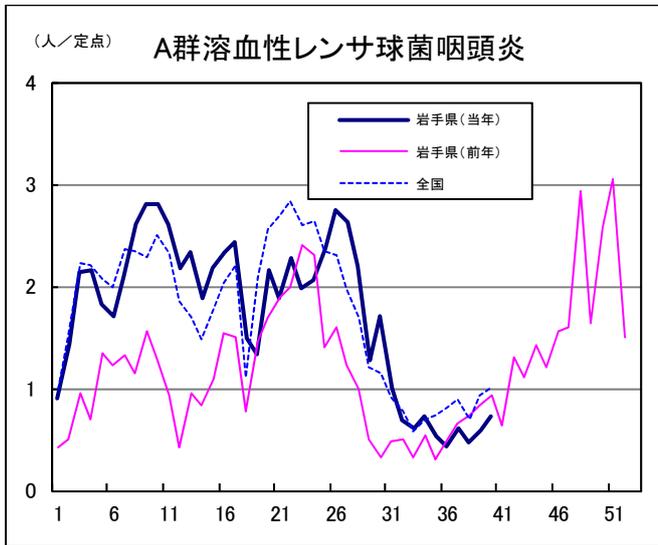
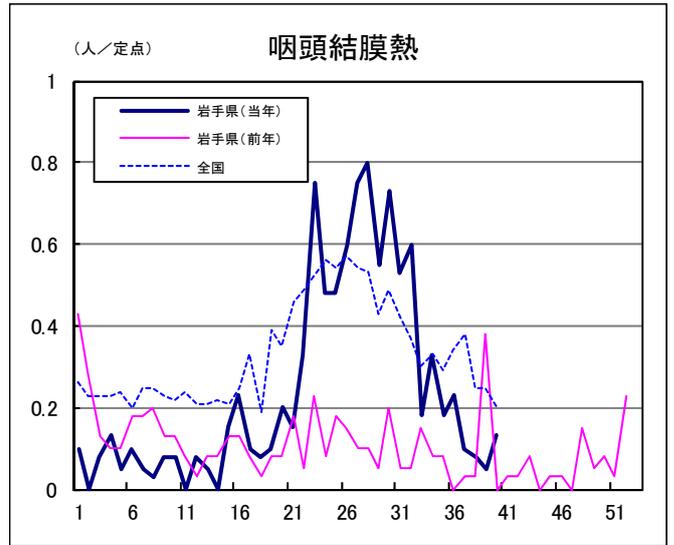
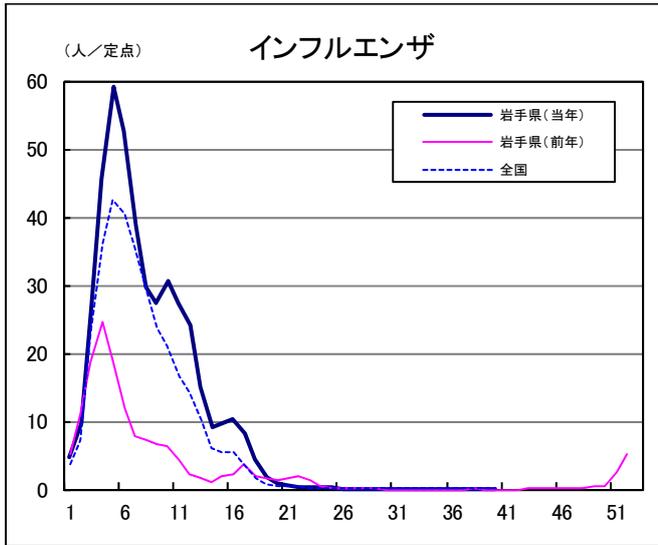
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

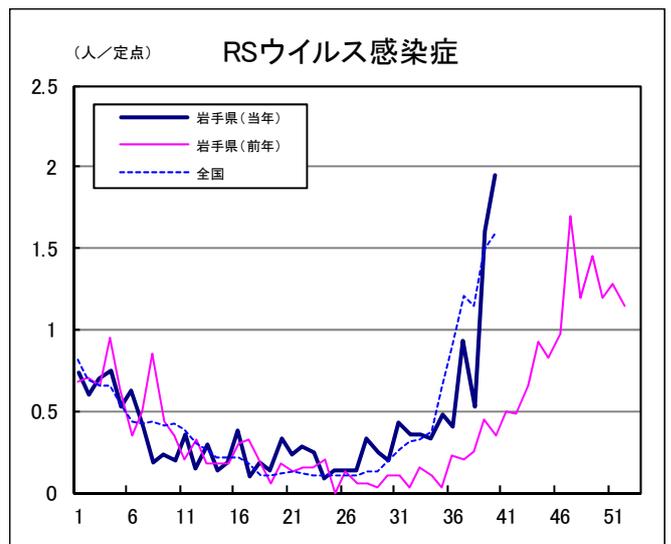
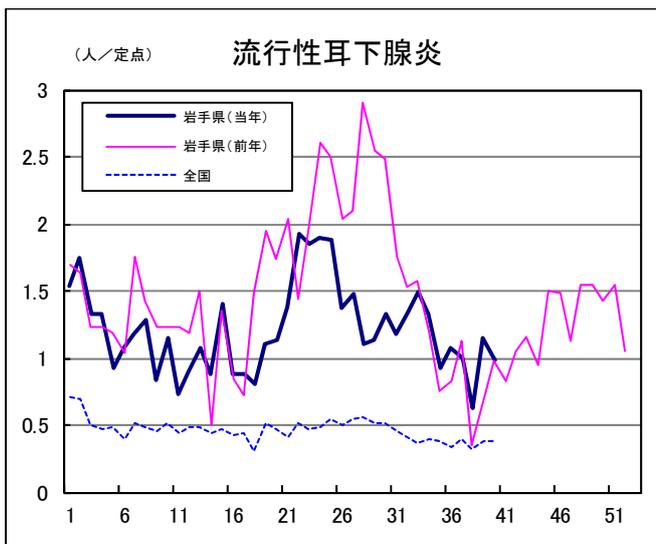
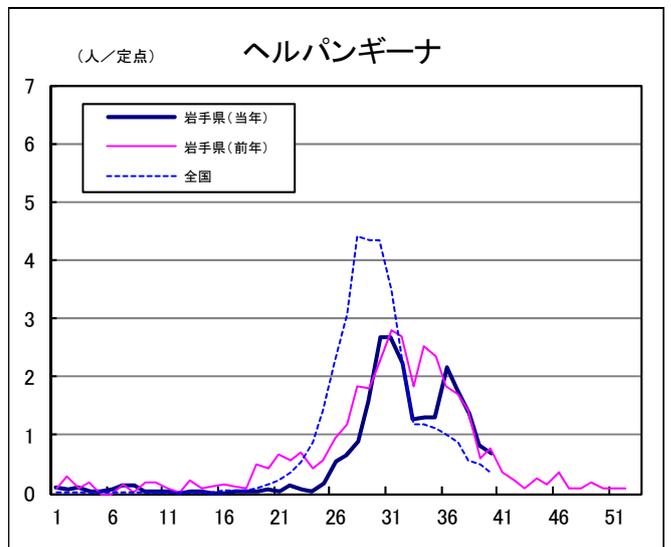
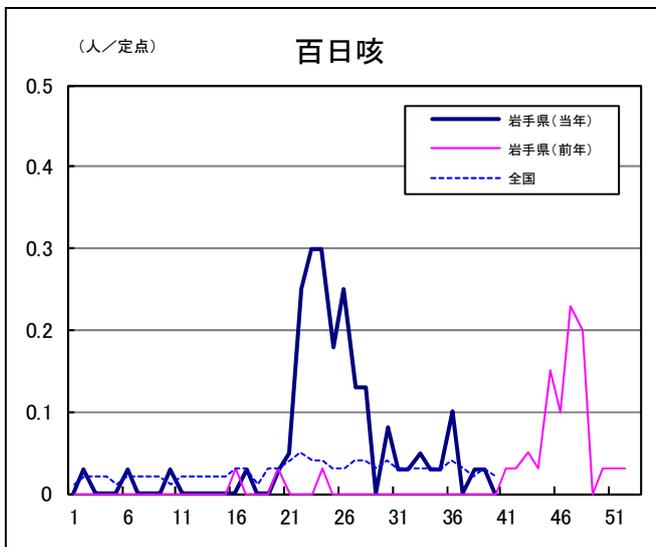
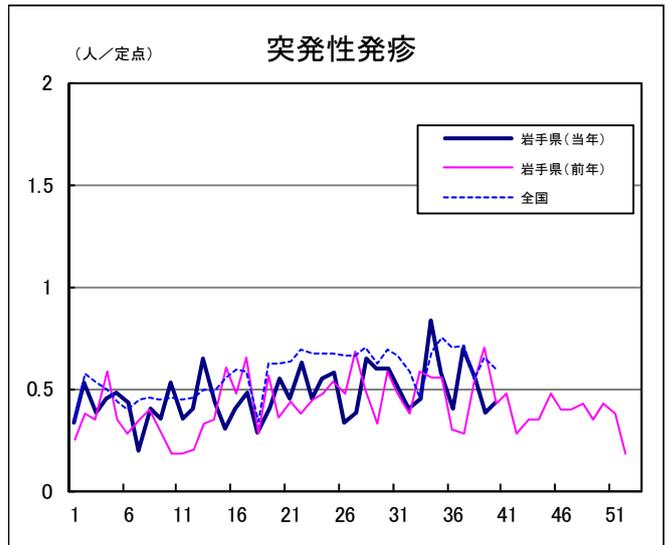
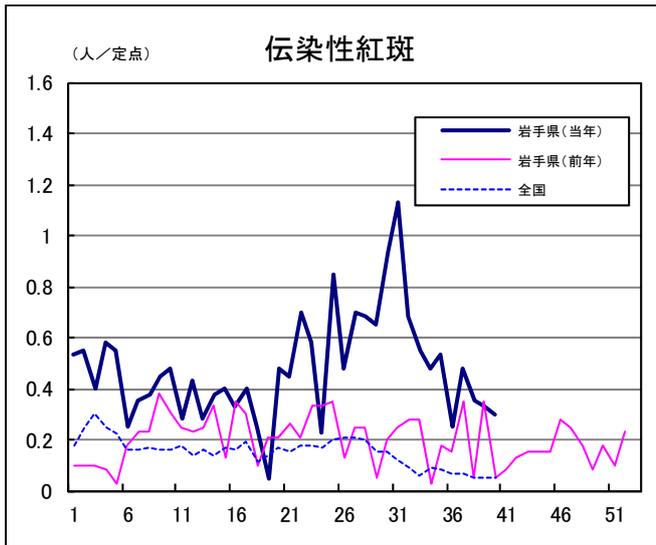
Q & A

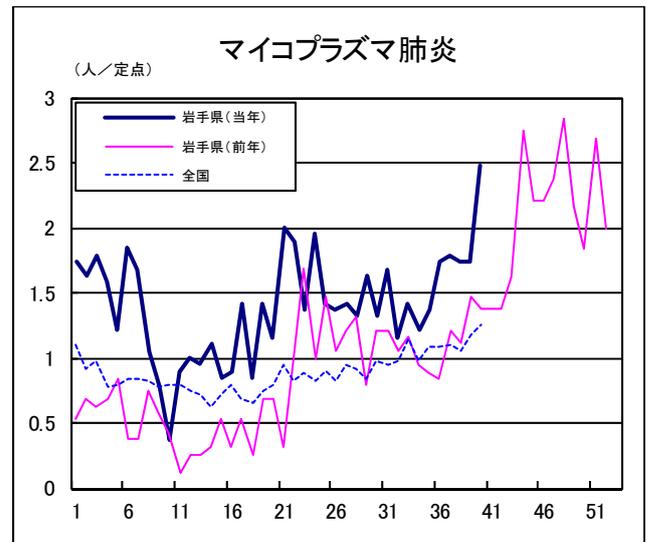
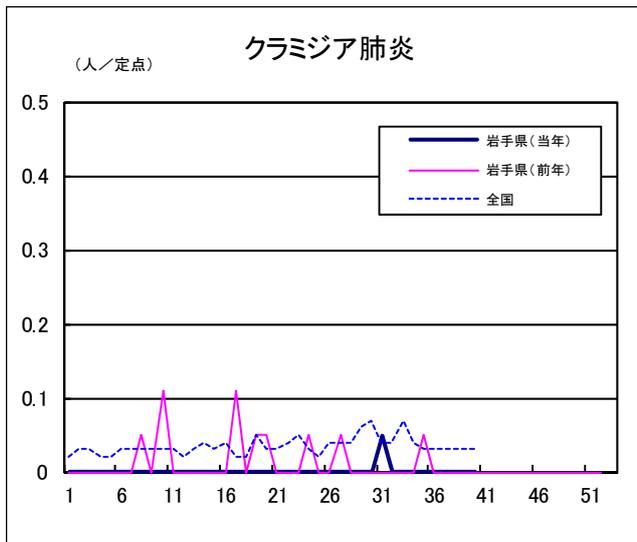
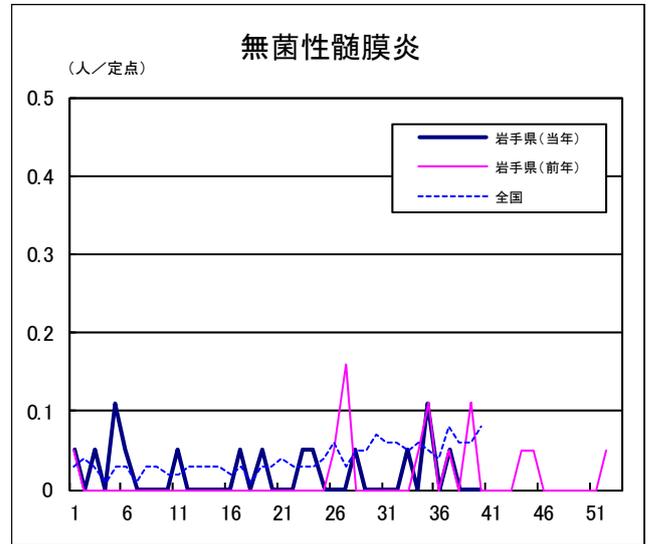
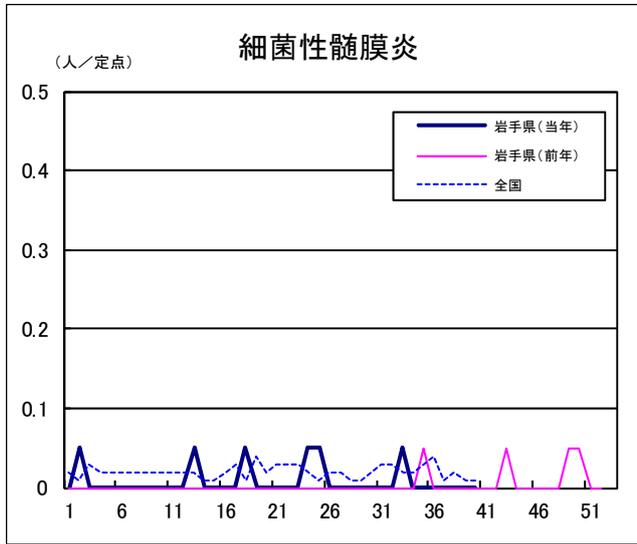
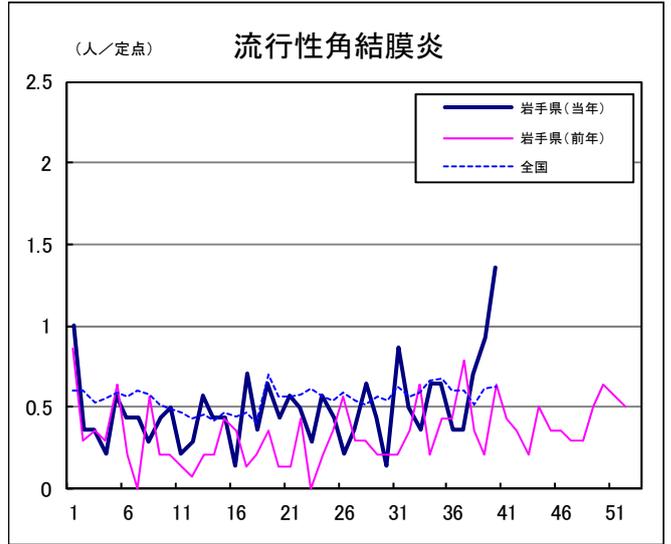
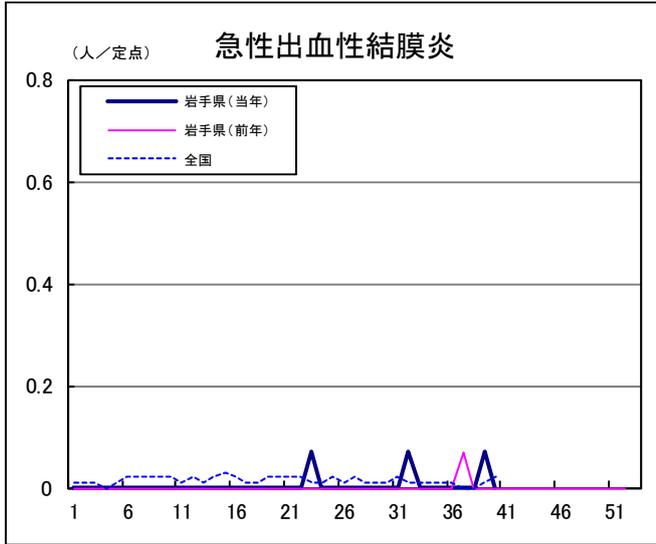
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
花巻	7	4	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成24年第40週 平成24年10月12日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療推進課

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療推進課>